

<再評価>

事業名 (箇所名)	広域河川改修事業(那賀川)		担当課	河川整備課		事業主体	徳島県			
			担当課長名	香川 忠司						
実施箇所	徳島県那賀郡那賀町(阿井)									
該当基準	再評価実施後一定期間(5年間)が経過している事業									
事業諸元	全体計画延長 阿井地区:L=1600m,(築堤V=63, 250m3、護岸L=1600m)									
事業期間	令和3年度~令和15年度(西暦2021度~2033年度)									
総事業費(億円)	38.4億円(阿井地区)			残事業費(億円)	26.54億円(阿井地区)					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績(阿井地区) ①被災頻度:H26 台風11号(床下16棟,床上18棟,浸水面積11.7ha) ②最大浸水戸数:34戸[H26(台風11号)] ③最大浸水面積:11.7ha[H26(台風11号)]</p> <p>・当該地区は、年平均降水量が2,000mmを超える多雨地域であり、台風や前線に伴う豪雨や局地的な大雨による水害の被害を受けている。 ・平成26年台風11号では、床下16棟、床上18棟などの浸水被害を被った。今後は、無堤箇所において、上下流のバランスを勘案しながら堤防の整備を行う必要がある。</p> <p><達成すべき目標> ・平成26年台風11号の被災流量(8, 200m³/s)を安全に流下させる。</p>									
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:34戸 浸水軽減面積:11.7ha									
事業全体の投資効率性	基準年度		令和7年度							
	B:総便益(億円)	791.8	C:総費用(億円)	331.6	B/C	2.4	B-C	460.2	EIRR(%)	-
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)	121.3	C:総費用(億円)	67.1	B/C	1.8				
感度分析			残事業(B/C)		全体事業(B/C)					
	残事業費(+10%~-10%)		1.6 ~ 2.0		2.2 ~ 2.7					
	残工期(+10%~-10%)		1.7 ~ 1.8		2.4 ~ 2.4					
資産(+10%~-10%)		1.9 ~ 1.6		2.6 ~ 2.1						
事業の効果等	<p>・平成26年台風11号の被災流量に対して、浸水家屋の34戸が解消され、氾濫面積約11.7haが軽減される。 ・また事業実施前には災害時要援護者が51人、最大孤立者数が100人、電力停止による影響人口が70人と想定されるが、事業実施によりこれらが解消される。</p>									
社会経済情勢等の変化	<p>地域の協力体制: 事業促進要望が強く、地域の協力体制は良好である。 地域の事業に対する社会的評価: 和食・土佐地区の暫定堤防の整備が完成したことで、地元からの期待も高まっている。</p>									
事業の進捗状況	・令和3年度より事業に着手し、現時点の進捗率は28%(事業費ベース)である。									
事業の進捗の見込み	・市町と緊密に連携した情報共有や用地買収等に関する協力体制を整えることで、事業を推進する。									
コスト縮減や代替案立案等の可能性	各事業の設計段階では比較検討を行い、施工段階では掘削土等の有効活用をすることでコスト縮減を図る。									
対応方針(案)	継続									
対応方針理由(案)	和食・土佐等の一部地区においては暫定堤防の整備により浸水被害が軽減されており、当該地区においても計画流量を安全に流下させるための堤防整備を行う。									
その他	社会的割引率によるB/Cの比較:3.2(2%)、3.8(1%)									